

# 「基督教週報」にみる本校関係記事・広告

立教大学図書館所蔵

## 1 〔記事〕

▲私立桃山中學校第一回卒業式は去月三十一日午後二時より執行せらる、今回の卒業生は同學校中學認可後の第一回にして十二名なりき

第七卷 第八號 明治三十六年四月二十四日

## 2 〔記事〕

### ●大阪桃山中學校長の園遊會

同校々長ウツド氏夫妻は市内聖公會教役者及び同中學校教師職員を招待して、去月二十九日午後四時より同氏庭園に於て園遊會を催されたり

第七卷 第廿一號 明治三十六年七月二十四日

## 3 〔記事〕

●大阪城南聖公會 本年一月一日ジ、ダブルユー、ローリングス氏は木庭孫彦氏に代り、當教會主任長老の職を襲がる、目下信徒七十名、受聖餐者四十五名あり、毎主日の集りは早禱三十名、夕禱三十五名平均の出席者あり、三十六年中の獻金は三百五十圓に達せり、日曜學校は生徒平均五十名の出席者あり、教授は信徒四名之を擔當し熱心薰陶に従事し居れり、又長老ローリングス氏は學生の爲め毎金曜日英語の聖書講義をなすの目的を以て、本月十六日より當會堂に於て講義を初めらる、目下聴講者十八名あり

(同教會田村氏報)

第八卷 第廿三號 明治三十七年二月五日

## 4 〔記事〕

●大阪救兒院 の昨年十二月より本年三月に至る四ヶ月の報告を見るに左の如し

天父愛護の下、院友諸氏の同情により、明治三十六年も無事に越年し、一同の健康も概して好良なりしを感謝す、

經濟に於て、昨年は幾分の殘餘を以て越年せしも、本年に至り時局問題の起りし爲め、當院事業の如きは社會より閑却せらるゝの傾向あり、此際院友諸氏の特別なる御同情懇願に堪へず、

(中略)

院見現況

一 桃山中學校	二名	一 プール女學校	二名
一 高等小學校	八名	一 院務従事者	二名
一 幼童	三名	一 東京立教女學校	一名
一 商業見習中の者	二名	一 職工	一名
一 手藝修業中の者	一名	一 家事見習中の者	一名
一 休學中の者	一名	計	二十四名

◎大阪桃山中學校卒業式 去る三十日午後二時より同校に於て、卒業式を執行せられたり、卒業生は十四名なりしと云ふ

第九卷 第十號 明治三十七年五月六日

5 [記事]

●大阪桃山中學校卒業式 四月三十一日午後二時より樓上の大廣

間にて、第三回卒業式を執行せられ、ウッド校長の迎賓の辭、及び卒業生に對す訓告ありて卒業生三十四名に卒業證書を授與せられたり。

第十卷 第十號 明治三十八年五月五日

6 [記事]

●大阪桃山中學校聖書課の新設 本學期より各年級を通じて正課の外に、此聖課を新設せられ成績頗る好し、蓋し基督教主義中學校として一大進歩といふべし、吾人は此事業の成效を期し且つ祈りて止まず

第十三卷 第五號 明治三十九年六月八日

7 [記事]

●大坂三一神學校 の新學期の學科は、馬拉基書、約翰傳、帖撒羅尼迦書、組織神學、社會學、公會史、哲學史、加拉太書、心理學、倫理學、英語、希臘語等なり。此他每週一回特別講演あり、實地演習として學校附屬講義所の働、及びワレン館の援助、且時々郊外の村邑に出掛け路傍をも試みつゝあり、目下學生總數十六

名、内三年級三名、二年級六名、一年級四名、豫科生三名（桃山中學に通學）なりと云ふ。

第十五卷第二十號 明治四十年七月十二日

## 8 「記事」

●大阪城南教會 近時信仰の覺醒、信徒の活動を惹起すべき好機會の屢々與へらるゝ、事眞に喜ぶべく、當教會も秋季に入り各方面共働きの上に主の祝福の顯著なるを見、主に感謝を捧げ候▲日曜學校は桃山中學校の敷教室を借り受け男教師五名、女教師二名、毎回共同の趣意を以て教訓罷在候▲婦人會は毎週一回、婦人仕事會は隔週一回相開き居り、今回は同會の盡力により優美なる教會旗新製せられ、明天長節香檳園に於て催ふ候當教會の秋季親睦會に、始めて之を酬へす積りに御座候▲最近男二名、女四名牧師より受洗いたし候▲主日夜の説教會青年信徒諸子は毎回路傍演説をなして多大の助力を與へられ、夜の集會も漸次出席者を増加致居候、此一ヶ月間に主日説教の後ち新たに求道を申込みし人は十四名に御座候▲當地方監督不在中につき來る十二月初旬京都地方監督を招聘し、信徒按手式執行の筈に御座候、尙ほ大方同情諸兄弟の御祈禱を懇望に不堪候（同教會報）

第十八卷 第十一號 明治四十一年十一月十三日

## 9 「記事」

### 日本聖公會過去

### 五十年の回顧

シー、エム、エスの日本傳道

安政六年以來米國監督教會は宣教師を送くりて、傳道に従事せしが、偶々米國に南北戰爭起り、宣教師の一部は本國に歸る事となりて、爲めに日本傳道の力を殺ぐに至りしかば、米國監督教會は英國に書送りてシー、エム、エスの助勢を請求したり。然るにシー、エム、エスに於ては直ちに其請求に應ずるの準備なく、荏苒其日を送り居るうち、偶々無名を以て四千磅即ち四萬圓の傳道費をシー、エム、エスに寄附せしものあり。是れ即ちシー、エム、エスが愈々日本傳道を實行するに至りし原因にして、明治元年の事なりき。翌二年一月英國よりの最初の宣教師としてデヨーヂ、エンソー氏來り長崎に住せり。氏は傳道に従事すること四年、病を得て本國に歸れり。此四年間にエンソー氏は十人乃至十二人に洗禮を施せりと云ふ。明治四年エイチ、バーンサイド氏來り、エンソー氏歸國後氏は自宅に於て公然禮拜説教を開始せり。正教會より轉會し來れる水島某傳道師として氏を補助したり。氏は出島に教會堂を新築せんと欲し、其工事に懸りしが、氏も亦た病を得

て、其落成を見ずして歸國し。當時大阪にて傳道せるエビントン氏（現時の監督）長崎に來りて教會堂を落成せしむるに至れり。

明治六年邪宗門禁制の制札が撤回せらるゝや、俄に宣教師の増發となり、當年及び次の二年間に四ヶ所の傳道を開始したり。明治六年十二月三十一日にシー、エフ、ワレン氏は香港より大阪に來り、明治七年五月にゼイ、パイパー氏は香港より東京に來り、同年同月にデブリュー、デニング氏はマダガスカルより箱根に來り、同年同月エイチ、エビントン氏は大阪に來り、明治七年の冬に、ピー、ケイ、フワイソン氏（後ち北海道監督）は新潟に來れり。此中新潟は明治十六年に廢止せしが、他は今日尙ほシー、エム、エスの傳道中心たり。

東京及び大阪を中心としてシー、エム、エスは其傳道勢力を東西に擴張し、今日聖公會關係の傳道會社中最も大なる領分を占むるに至れり。

大阪に於ける第一のシー、エム、エス受洗者は明治九年にして其數六人なりしと云ふ。大阪三一神學校は明治十七年に開始せられ、ヂー、エイチ、ポール氏、ピー、ケイ、フワイソン氏相踵で校長となり。桃山學院も亦た同年に創設せられたり。明治十二年同會社女子教育會派遣の女教師オックスラッド嬢に依て、一の女學校が設立せらしが、明治二十三年に至りて、プール女學校と改稱し、其

組織を變更したり。大阪聖三一教會は明治十一年の三位一體主日にバードン監督に依て聖別せられ、其次の木曜日即ち七月二十日に日本人十七人、外國人一人同教會に於て信徒按手式を受けたり。聖三一教會は其後二度増築せられ、明治十四年に近傍に移轉し、六年後更に現在の場所に改築せられたり。明治二十年三月六日寺澤久吉、中西義之、寺田藤太郎の三氏聖三一教會に於てピカステス監督より執事按手式を受く。聖救主教會は明治十二年十月始めて建設せられたり。同年に第一の傳道會館は設けられ、基督教書類の販賣をもなせり。續で第二の會館が起り聖救主教會の起源となれり。ワレン館は明治二十三年の設立に係はる。

（後略）

第十九卷 第一號 明治四十二年三月五日

10 [記事]

## 日本聖公會過去五十年の回顧

聖公會の信徒

約一萬三千の日本聖公會員は果して如何なる階級の人に最も多き

か、是れ最も興味ある問題なり。英國に於ける聖公會員が其上流社會に多きは教會と國家との關係上自然の事と云ふべく、米國の聖公會員殊に紐育に於ける聖公會員に富豪の多きは人の皆知る所なり。然るに日本の聖公會員に上流社會の人多しとも云ひ難く、又た富豪多しとも云ひ難し、此等の點に於ては寧ろ他派の二三教會に劣る所あるが如く感ぜらるゝなり。又特に學生の群衆する教會にはあらず、別段老人婦女の喜ぶ團體にもあらず。聖公會の教會堂は嚴肅を重んずるを以て社交心を満足せしめんが爲め來たるものは聖公會を冷淡なりと評し。聖公會は禮拜式を重ずるを以て單に説教を聞かんとするものは面倒に感ぜられ、又た聖公會の説教壇は聖職以外に與へざるを以て名譽を逐ふ血氣の青年は兎角遠ざかるの傾きあり。然れども聖公會には又た聖公會的の特色あり、其主義に養成せられ、其儀式に馴致せられたるものは他派の教會堂を以て教會堂らしく感せず、他派の禮拜式を以て禮拜式らしく感せず、故に他に移るもの少なく、又た脱會するものも比較的に多からず。概して云へば、聖公會員は中流社會の人に多く、又概して解質なる信仰を有せるものと云ふべし。

(中略)

大學出身の聖公會員信徒には小林秀雄(文)、西川巖(文)、加藤榮(工)、葛西又次郎(法)、矢田七太郎(法)、守屋恒三郎(文)、官田

光雄(法)、大澤次三郎(工)、高木章(法)、市川行章(醫)、鳩山秀夫(法)、穴倉保(文)、堀内彌二郎(醫)、鷲尾健(法)、森卷吉(文)、野田義三郎(應)、多田政辰(應)、有澤潤(醫)、上垣哲一(醫)、玉置適(文)、田村補三郎(獸醫)、田村辨(醫)の諸氏あり、外國大學出身の人々には杉浦貞二郎、木村重治、佐伯好郎、吉田榮右、岩井順一、米田庄太郎、川瀬元九郎、金澤久、清田龍之助、津田梅子、鈴木歌子、上杉憲章、福岡秀猪、小川健吉、木谷茂吉、牧野清子、山崎友吉、松尾音次郎の諸氏あり石井亮一、同夫人箠子、林歌子、荒木いよ子の諸氏は一回或は數回外國を漫遊し或は外國に留學せしことあり。

實業家としては衣笠景徳、大塚惟明、宮崎敬介、星野行則、柳原吉兵衛、多治見十郎、田島爲助、平島喜智、矢島己之助、甲田貞造、吉岡禮一、清水友輔、堀江章一、鈴木正平、田中久吉、中川藤四郎の諸氏を推すべく、醫家は櫻根孝之進、秦吞舟、長田重雄、市川行章、堀内彌二郎、深澤鑑十郎、川瀬元九郎の諸氏あり。曲科に木谷茂吉、三輪五郎七兩氏あり。

國學者に松山高吉氏あり、漢學者に山田清風、本莊季彦、谷清順、小島(二川)一騰の諸氏あり。

教育家に大森順三、大倉本澄、杉浦貞二郎、佐々木文美、佐々木勝一、木村重治、本田増次郎、松尾音次郎、佐島啓助、佐藤一造、

金澤久、佐伯好郎、淺野勇、村山和助の諸氏あり。女子教育家には津田梅子、鈴木歌子、田村初太郎、小宮珠子、若佐琢藏、長橋政太郎、木村尚子、住友彦太郎、山脇房子の諸氏あり。低能兒教育者に石井亮一氏あり、盲人教育家に森卷耳氏あり、救兒事業家に小橋實之助氏あり。

司法官に藤田隆三郎、安田繁太郎、松本萬一郎、岡田多四郎の諸氏辯護士に川口榮之進、玉置格、磯田復藏、岩崎義憲、碧川眞澄の諸氏あり。

官吏に前田秀實、矢田七太郎、宮田光雄の諸氏あり。音楽家に杉浦夫人チカ子あり、齋家に河久保正名、石川鑑一郎、永井香圃、高島北海の諸氏あり、舊家に辻順宣氏あり。新聞記者に水田榮雄、生駒參藏、葛西又次郎、根岸由太郎、清田龍之助、牛山清四郎の諸氏あり。聖公會のレイメンに人なしと云ふべからず。(良山)

第十九卷 第十五號 明治四十二年六月十一日

## 11 [記事]

●桃山中學校會報 會衆組織 本年五月八日附にてフラス監督より、當校内に會衆を組織することを認可さる▲現在信徒 本校在籍信徒總數職員十九名、生徒五十七名、内當會衆に屬する者職員

八名、生徒二十九名、受聖餐者總數二十七名▲諸集會 日曜日午前九時半早禱式、會衆平均七十名、月曜日放課後全信者聯合會、火曜日放課後求道者會、出席者平均四十五名、金曜日放課(後)職員聖書研究會(出埃及記) 土曜日放課後第一學年求道者會▲求道者 總數第二學年以上五十三名、既に志願式を受領したるもの九名▲委員 五月二十三日委員選舉を行ふ、當選者淺野勇、石村保三郎、田中樞吉、喜田高藏、半田正三の五氏(以上六件惠の音)

第十九卷 第廿二號 明治四十二年七月三十日

## 12 [記事]

### 日本聖公會過去五十年の回顧

聖公會の教育事業…:普通教育(二)

大阪、桃山中學校 明治二十三年一月大阪市西區江戸堀なる一神社の拜殿を校舎としてテ、ダン長老の設立するところなり。最初は生徒として僅かに二名の基督教信者あるのみなりしが、數週間にして十八名の生徒を得るに至れり。其の後間もなくダン氏病魔に襲はれて、ゼイ、ハインド長老之れに代りたり。

現今使用しつゝある校舎は一萬圓の莫大なる寄附金に負ふところあり、而して右は當時ロンドンに於けるシー、エム、エス傳道會社の名譽幹事たりしエフ、イー、キグラム長老の寄附せられし事其の後判明せり。明治二十四年一月この新校舎は桃山高等英學校の名を以て開かれ、エ、エチ、マック、イー、プライス長老（現福建監督）及びエイチ、エル、ブレヴィ長老はそれぞれ校長及び副校長に任せられたり。この年の終りには二十五名の生徒ありて、其の一人は洗禮を受けたり教科目は聖書と普通科目にして明治三十六年（二十六）本田増次郎氏副校長に任せられ、心理學及び拉丁語の二科目新たに加へられたり。明治二十七年に至り生徒は四十五名となり、其の中二十七名は寄宿生にして、教師はたゞ一人を除きて他は盡く福音主義教會に屬する信者なりき。この年の卒業生は駒井及び天野兩氏なり。

明治二十八年名を桃山學院と改め、本田氏其の職を退き、明治三十一年ダブルユー、アール、グレイ長老校長となる、五年の課程を四年に改め其の上に高等科一年を置けり、この年卒業せるもの三名なり。猶ほ本年はモット氏の來訪により基督教育年會組織せられ、職員生徒盡く之れに加入せり。明治三十二年生徒は百名に達し、課程教科目を中學組織とせり。明治三十四年佐々木勝一氏校長となり、中學校認可を請願し、翌年四月其の許可を得、また

五十名の生徒を容れ得べき寄宿舎を學校櫛内に設けたり。明治三十五年九月シー、エイチ、ビー、ウツド長老校長となる。但しグレイ氏賜暇歸英よりウツド氏の就職に至る數ヶ月の間、エイチ、ワレン長老校長の事務を執りき。中學校認可を得て以來生徒數漸次に増加す。明治四十年ウツド氏賜暇歸國したるに依り淺野勇氏（本校舊卒業生）其代理を勤め、ジー、ダブルユー、ローリング氏は校牧師にして且つ會計主任たり。

同年十二月淺野氏改めて校長に任せられ、ウツド氏は校牧師並會計主任となり、明治四十一年生徒數は四百名を越え、教師は一名の外盡く信者にして、生徒中にも六十名の信徒を見るに至れり。

毎週四回授業前三十分間の聖書講義ありてウツド氏及び四名日本人教師之れをなし、生徒の出席は隨意なれども、今日にては全生徒の三分の二乃至四分の三は定まつて出席するに至れり。

集會は寄宿舎祈禱室に於ける朝夕の禮拜及び種々の特別集會あり。宣教師の俸給の外は現在に於て本校は事實自給しつゝあり。

生徒の月謝は大阪に於ける他の府立中學に比して少しく多額なり。明治四十一年本校は六十五名の卒業生を出し、其の中十二名は高等學校に入學せり、而して其の比例を見るに大阪府下の何れの學校よりも優れり。

## 日本聖公會過去

## 五十年の回顧

## 英語の學校

プロテスタントの日本傳道開始以來其傳道の間接方法として最も有力なりしものは英語の研究なり。日本が西洋文明に接觸したるは英米を通じてなりき。プロテスタント宣教師は英米人なりき。

傳道の初期に於て、我國民は宣教師の宣教を歓迎せざりしも、宣教師より其國語を學ばんとするの情は甚だ切なりき。故に宣教師は我國民の希望に應じて英語を授け、從て基督の福音を知らず識らずの間に傳へられたるものにして、此手段に依て信者としたりしもの頗る多かりしなり。昔に初期に於て然りしのみならず今日に於ても亦た然るが如し。日本聖公會の歴史は儘かに此事實を證明するものなり。

過去の歴史に屬する大阪英和學舎、奈良英和學校、大阪照暗女學校、關西女子高等學校、長崎女學校、嶺和女學校、靜修女學校の如き、又今日の大阪桃山中學校、東京立教學院、神戸乾行義塾、東京立教高等女學校、大阪プール女學校、京都平安女學院、東京

香蘭女學校、神戸松蔭女學校の如き、普通教育の學校なるに相違なきも、其特長とする所は英語にして、此點に於ては同程度の官公立或は他の私立學校の及ぶ所にあらざることは世人の凡て認むる所なりとす。此等の學校に關しては曩きに詳述したるを以て之を畧し、此外日本聖公會の過去及現在を通じて、英語教授を目的とする學校の如何に多きかを示すべし。

明治二十二年の頃に於て既に存在せるものは、高橋秀太氏の經營せる福山英和學校、故ブランドラム氏及スミス女史の管理せる熊本男女英學校、東京アンデレ傳道團の英語學校、ペーエン女史の創立せる釧路英和女學校、小澤善平氏の三一英學校及び紀州名手にも英學校ありき。熊本と名手の學校は一年或は二年にして廢止せられ、福山英和學校は明治二十六年まで、釧路英和女學校は明治二十八年まで繼續し、アンデレ夜學校は今尙ほ繼續せり。明治二十三年に英國女教師バンエ氏は出雲國塚本町に英語研究會を興せしが、永く生存せず。明治二十五年に武田俊造氏大阪西成郡傳法村に英語夜學校を始めしが、其後の消息を詳かにせず。明治二十七年にフリース氏等横濱野毛町に横濱英學校を開始す。同地アンデレ教會附屬英語夜學校の前身にあらざるが、前身なりとすばれ永く假死の姿にてありしものと見るべし。

明治二十八年には田中善世氏築地二丁目三十二番に英語學館を、



チエフリース夫人仙臺東三番町に英語學會を、チャペル氏青森米町に英語研究會を、チャモレー氏自己の居宅東京牛込區岩戸町に、岩戸英和俱樂部を興す。青森の學校は其翌年英語夜學會となり、近年まで繼續し、岩戸の俱樂部も明治三十年に英語夜學會と變名し、數年間生存し、他の二校は共に天死せり。明治二十九年に立教學院附屬の英語專修學校設立せられ、明治三十五年の頃廢止す。同二十九年に神戸楠町に神戸英學院設置せられ、辻井良吉氏最初の主幹たり、三十二年に英學會となり、今日尙ほ存命せり。

明治三十年にはゾーマン氏前橋市に英語夜學校を設け、ミス、ヤング名古屋に英語夜學會（後アンデレ夜學會）を開き、ベタソン女史信州松本に英語會を興したり、何れも數年間繼續せるが如し。明治三十一年に東京麹町區五番町十五番地博愛教會（聖愛教會）に同胞會英語夜學校ありて同胞會のウツド氏之を助け、チャモレー氏は牛込區水道町二丁目三十二番地に英語夜學校を開けり。三十二年に早川喜四郎、ミス、ウイリアムソンの諸氏、和歌山に英語夜學校を立て三十八年に和歌山英學會と改稱したり、三十三年には堀正義氏上總大多喜町に正則英語會を組織し、ミス、サザンは金澤に英語夜學會を創設し、三十四年にロビンソン、鯨岡眞吉諸氏愛知縣一の宮町に英語會を成立せり。此等の學校中最も永く繼續したるは和歌山の英學會にして、其次は大多喜の正則英

語會なりき。明治三十四年備後福山に再び英語夜學會起り、始めの頃はロバーツ、ガルゲーの諸氏専ら教鞭を取り、五年間にして滅す。三十五年ミス、ライトは熊谷町に英語研究會を組織し、三年間之を維持せり。同年メードレー氏は秋田に英語夜學校を設けたりしが其壽を知る能はず。三十五年マギニス、野元、田多兩氏信州上田に英語會を生み、三年間存命す。

明治三十六年ライフスナイダー氏福井に英語學校を興し、今尙ほ繼續し、ポイス氏等は岡山に英學會を組織し（今尙ほ繼續か）ミス、ハイウッド、ミスランソンは川越に英語研究會を設け、三十年にワレン、内田茂七諸氏は大阪ワレン館に英學會を附設したり、今は其生死を知らず。今日英語専門、或は英語を重なる學課として教授しつゝある重なるものは、北東京地方に於て、立教大學、立教中學、立教高等女學校なり。南東京地方に於て、香蘭女學校、聖安得烈夜學會なり。京都地方にては、平安女學院、南陽英學校、福井英學校なり。大阪地方にては復活教會英學校、普流女學校、桃山中學校、松蔭女學校、乾行義塾、神戸楠町英學會、なりとす。（長山）

## 14 「記事」

△ウツド長老歸英、昨年其家族を本國に遺し單獨再來孜々として  
 桃山中學育英の任に當られつゝありし同長老は不幸口中病のため  
 來る三月二十七日神戸發歸英の途に上らるゝ由

第卅壹卷 第五號 大正四年四月二日

## 15 「記事」

●桃山中學校第十四回卒業式 三月十四日午前十時より同校内に  
 於て執行卒業生は八十六名の由因に監督フオス師は態々臨場ピカ  
 ステス監督獎學の聖書賞品授與の式を執行せられたり。

第卅三卷 第六號 大正五年四月七日

## 16 「記事」

## 新設傳道館

先頃大阪府下天王寺村阿部野四百八十二番地に傳道館新設せら  
 るシ、エム、エス傳道會社の設立に係り左記三項の目的に使用せ  
 らる。

第一、文部省令に依れば認可中學校内にては宗教的の活動を許さ  
 めから當分は此傳道館を以て桃山中學校職員生徒間に宗教の働き  
 をなす中心點として供用するにあり同傳道館は桃山中學校を距る  
 西方四丁位の高地にあり隣地に大阪高等學校設立せられたる爲に  
 附近は近頃俄に膨張し傳道の好適地なり。

第二、桃山准教會の禮拜用に供せらる同教會は數年來校長宅の書  
 齊にて禮拜を行ひ來たるも漸次集會者増加到底多數の來會者を収  
 容し得ざりしも傳道館内にて禮拜を行ふに至て附近に住する信徒  
 が自ら進で來會する様になり漸次盛況を呈しつゝあり教會は該館  
 使用のため毎月一定の家賃を支拂ひ居れり。

第三、傳道館は此の新開地方の必要に應ずると共に職員生徒が其  
 信する基督教を他一人々の必要に利用する機會を與ふるにあり傳  
 道館附屬の土地尙廣ければ此種の働きを如何に發展するも差支な  
 し。

傳道館の土地は多年傳道會社の所有に屬し其間に地價暴騰して  
 幾倍となれり建築に要せる費用は原と大阪市内に中央傳道館を建  
 設する目的にて貯へありたるワールン記念館の資金の當分不用な  
 るを借用したるものにして之が建築に當りたるは聖三一教會村瀬  
 久松氏にて氏が自己の利益を損て神の御榮の爲めに銳意熱心に造  
 築に従事したるものにして經費は一萬餘圓に上れり。

該館の入口玄關は廣濶にして一時に多數の來會者が履物を脱ぐに差支なく又た玄關の眞上には百人をも座せしむ丈の櫓敷の廣間ありて親睦會等に適し大廣間は階下に在りて優に百五十人を容れる丈の設備あり聖壇所は禮拜以外に使用する場合には屏風を用ひて遮斷するを得べく同地正面會館と相接して頗る便利なる牧師館あり二階客間より橋を渡りて親睦會室に通ずるを得へし。

傳道館は九月十六日フオス監督司式の下に開館式舉行せられ外の教友堂に滿ち共に滿腔の悦を以て神が此便利なる會館を吾人の働きの爲に與へ給へるを感謝せり會館開の祝として週間特別説教會を開く館の説教會は三種の特別なる意義を有するものにして一は會館の説教一は桃山准教會の説教一は中學校の説教にて初の三日は市内の牧師三名が非常なる好意を以て來援説教せられ他の二種の説教の爲めには濱田の牧師小池耕造氏を招待したるに同氏は多忙の中を繰合せ悦て來援せられ晝は職員生徒に夜は一般の聽衆に非常なる熱心を以て自己の蘊蓄を自己の經驗より話され聽衆に多大の感動を與へられたり連夜集りたる聽衆の數に依りて會館が必要を充する得るを證し得べく已に求道者に數名起りたればこれを信仰に導かんことを望む教役者缺乏のため目下定住の傳道者なく桃山中學校教員が名忙なる中に備をなし時々外部より補助を受け居る現狀である願くは此の報告を一讀せられる諸兄姉は吾々

が此の會館の建てられたる目的を遂行し得んため神の祝福を受け得る様御祈り下さらば誠に難有く存する次第である。

ジョン、シ、マン

## 桃山中學校

本紙別項の通り傳道館の新設は桃山中學校に取り其宗教的活動の發展を計るに好機を與へるものなり數年來學校々舎内にて宗教的活動を爲すの自由を有せず又學校附近に斯かる活動を爲すに適當なる建物なかりしも此會館の出來たるため我々が此處に集り得るのみならず附近の民衆に福音を宣傳するの中心なれば吾人は此方面にも十分力を盡さんことを望む次第である。

桃山中學校校地所全部は校地として登記しありたるも今回監督官廳にては全校地(約一萬千坪餘)の三分の一の登記解除に同意したるに依り宗教上の目的に自由に使用するを得るに至れり「校内」「校外」の區別が斯く明かになり生徒を宗教上の集會に強て出席せしめざる以上は宗教方面の働きを爲すに毫も差支なし依て速に學校用の禮拜堂を建設するの設計を立て建築に要する資金を募集の筈なり禮拜堂出來たりとて傳道館の不要になる筈なく禮拜堂は毎日の祈禱及生徒の傳道に用ふべく傳道館は附近の民の爲に信者生活の中心點とならしむべきである。

因に吾人が種々必要を感じるにも切に感ずることは教員の缺

乏である殊に信者の教員を以て之に充てることである、然し全國に亘りて中學校教員の缺乏甚だしき時なればミツシヨン、スクールに信者ノ教員を以て補充することは殆ど不可能のことなり全國にある教會が生徒の爲め又主の爲めに悦んで働く立派なる信者にして適任の良教師を紹介し給はんことを希望す。

吾々は今秋ローリングス校長の歸任を迎へんことを豫期し居たるに同氏には新年までは事故のため出發出來ざるの報に接し遺憾に堪へず然し其迄の間は吾人は出来る丈の力を盡して校務を執る覺悟である願くば諸氏爲めに御祈禱あらんことを。

校長代理 ジョン、シ、マン  
第四十六卷 第九號 大正十一年十二月十七日

## 17 〔記事〕

### ●大阪桃山教會起工式

桃山教會は愈々桃山中學校寄宿舎南隣りに移轉することとなり、七月十八日午後五時其敷地に於て起工式を舉行せり、炎熱の露天に集ふ者、六十名を算し、ローリングス長老司式、久保執事の説教、喜多委員の聖書朗讀、飯牟禮委員の経過報告並に感謝の辭、名出監督の聖別祈禱及祝禱を以て式を終へ、記念撮影をなせり、

當日わざわざ遠路臨席を辱ふしたるは、名出監督、今泉教師、張本教師、ハワード女教師、阿部大尉卒業生等にして尙四國に出張中のマン長老は當日の式のため祝電を送られたり。  
工を始むるにあたり信徒一同喜にあふるゝと共に、責任の大なる感ぜしめられたり一同希望に満たされ竣工の日を祈りつゝ散會せり。

第五十五卷 第二號 昭和二年九月九日

## 18 〔記事〕

○ローリングス長老(桃山中學校校長) 七日神戸發カシメヤ號にて賜暇歸英。小泉秀氏(プール女學校校長) ローリングス校長歸國中代理校長兼任。

第五十六卷 第三號 昭和三年三月十六日

## 19 〔記事〕

個人

▲ローリングス長老(桃山中學校校長) 歸英中の處六月歸任、大阪市住吉區住吉町帝塚山に住居。

第五十九卷 第一號 昭和四年九月六日

20 [記事]

▲ローリングス長老 定年退職の爲め小泉秀氏桃山中學校長に就任 (ロ氏は三月迄一職員として勤務)

第六十五卷 第十九號 昭和八年一月二十日

21 [記事]

大阪教區彙報

◎桃山中學校卒業式 三日午前十時新校長小泉秀氏に依つて舉行せられたり。

第六十六卷 第八號 昭和八年四月二十八日

○故桃山中學校長ローリングス長老就眠一週年の當日、四月八日聖アンデレ教會にて記念聖餐式執行、教區監督の説教あり、今さら新しく故人の面影を身帯して在りし日の事共を偲びたり。

第六十八卷 第六號 昭和九年四月十三日

22 [広告]

生徒募集

募集人員 第一學年 約貳百名

出願期日

三月一日ヨリ三月二十五日迄毎日午前九時ヨリ午後四時迄

選抜考査

左記ノ通り本校ニ於テ試問ヲ行フ

三月二十七日(水) 午前九時ヨリ口頭試問  
三月二十八日(木) 體格、體力検査  
三月二十九日(金) 體格、體力検査

(詳細ハ三錢封入照會ノコト)

桃山中學校

住吉區昭和町中三ノ五  
電話天王寺五九一〇番

第八十卷 第三號 昭和十五年三月十五日

入學志願者心得（昭和十六年度）

◎募集人員 第一學年 約貳百名

◎應募者資格

- 一、本年三月尋常小學校卒業見込ノ者
- 二、大正十五年四月二日以後ニ出生シ尋常小學校ヲ卒業シタル者

◎出願期日

三月十日ヨリ三月二十日迄毎日午前九時ヨリ午後四時迄

◎出願手續

- 一、入學志願者ハ本校所定ノ願書用紙ニ調査書ヲ本校ニ贈求スベシ
- 二、入學願書ニハ必要事項ヲ記入シ檢査料金貳圓ヲ添ヘ本校ニ差出シ受験票ヲ受取ルベシ但既納ノ檢査料ハ一切還付セズ
- 三、出願ハ調査書及成績一覽表ヲ當校長宛親展書トシテ三月二十五日迄ニ必ズ本校ニ到達スルヤウ送附方ヲ出身小學校ニ依頼スベシ

◎選抜考査

左記ノ通り本校ニ於テ考査ヲ行フ  
三月二十七日（水） 二十八日（金） 二十九日（土）  
午前九時ヨリ口頭試問、體格、體力檢査

大阪市住吉區昭和町中三丁目 桃山中學校